

阿賀町地域福祉活動計画推進アンケート（結果）

基本目標2 みんなでまもり、支えあうまちづくり

【プラン1】 “まもる” 情報発信の充実		評価							
		個人				地域			
取組内容		A	B	C	D	A	B	C	D
1	情報を自ら積極的に得るようにします。	14	4	2	0	6	11	2	0
2	「広報あが」や「社協だより」、回覧などを読み、町や関係機関・団体からの情報をよく見るようにします。	14	6	0	0	7	11	1	0
3	ホームページやSNSなども活用し情報を得やすい方法で得るようにします。	4	8	6	2	2	4	12	1
4	地域で行う集いや講座に参加して情報を得ます。	14	5	1	0	6	9	3	1
《自由記載より》 ・ 知らせ合いアプリなどで情報見ている ・ 立場上広報誌によく目を通し情報を得ている ・ 高齢者が多く、テレビ電話はあまり活用されていないようだ（若い人も聞いてない） ・ 回覧板の課題は今のところない									

【プラン2】 相談体制の充実		評価							
		個人				地域			
取組内容		A	B	C	D	A	B	C	D
1	困りごとがあったら、相談をします。	15	4	1	0	6	11	2	0
2	相談先が分からない人がいたら教えてあげます。	15	4	1	0	6	12	1	0
3	気軽に相談できる仲間や同じ悩みなどを抱えた仲間づくりをします。	9	5	6	0	6	7	6	0
《自由記載より》 ・ 民政委員として自分ですべて抱えない。行政に相談する ・ 生活の困りごととして、イノシシ被害の対策として、電柵の相談などもされる ・ 行政からの文書での手続きの相談を受けることが多く、地域で勉強会を自主的にしている（情報共有） ・ ガス等の住宅設備も誰に相談していいかわからず区長が相談を受けることもある ・ 地区の作業等は、年度計画があり参加している ・ 福祉の制度が分かりにくい時は、民生委員にたずねる ・ 困りごとを他の人に話すことが、恥ずかしいと思う人もいると感じる									

【プラン3】 みんなで障がいの理解		評価							
		個人				地域			
取組内容		A	B	C	D	A	B	C	D
1	認知症、障がいの特性を理解します。	15	5	0	0	5	12	0	0
2	障がいを抱えている方の立場になって物事を考えてみます。	13	5	2	0	4	14	0	0
《自由記載より》 ・ 障害がある方が落ち込んでからと言ってへたに突っ込み過ぎないなど、今までの経験を経て対応している ・ 認知症の家族がいることを知られたくない、隠したい気質がまだある ・ 地域に障害がある人がいて、地域全体で小さいころから知っている									

【プラン4】 防災を学び合うことを通じて支えあいづくり		評価							
		個人				地域			
取組内容		A	B	C	D	A	B	C	D
1	災害が起きていなくても、地域で避難場所、避難方法を確認し合います。	10	3	7	0	6	5	6	1
2	地域で避難訓練をするなど防災活動に取り組みます。	5	3	9	3	2	6	7	3
3	災害について家庭や地域で様々な想定（日中・夜間・災害別）をしながら話しあいをします。	4	5	9	2	3	3	10	2
<p>《自由記載より》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練については地域で行えてない ・地域内にある高齢者施設と共同で防災訓練を行い、その際、防災クックなど社協も関わり行った ・2年前の停電時、地域内は非常に困難な状況でその時の教訓を活かしたいが・・・ ・避難訓練を学校と協働で行うといいのでは ・避難訓練をしなければならないと思っているができていない ・自分の地域は災害が起きない、大丈夫だという意識が地域にある ・学校が避難場所になっているが、日頃使っていないため災害時に使えるのか不安 ・初期消火訓練は、以前はしていたが、今はしていない ・台風時に、避難の経験があった ・上川支所へ自主避難をした（区長判断で行う） ・火災時の水の確保を役場と連携している（冬季間の雪で止水版の設置）避難訓練をしなければならないと思っているができていない 									